

2022年6月6日

各位

会社名 森永製菓株式会社

代表者名 代表取締役社長 太田 栄二郎

当社政策保有株式の状況について  
(第174期定時株主総会招集ご通知補足説明資料)

当社が保有いたします政策保有株式の状況につきまして、2021年6月29日に提出いたしました有価証券報告書記載の内容より大きな変更が生じておりますので、お知らせいたします。

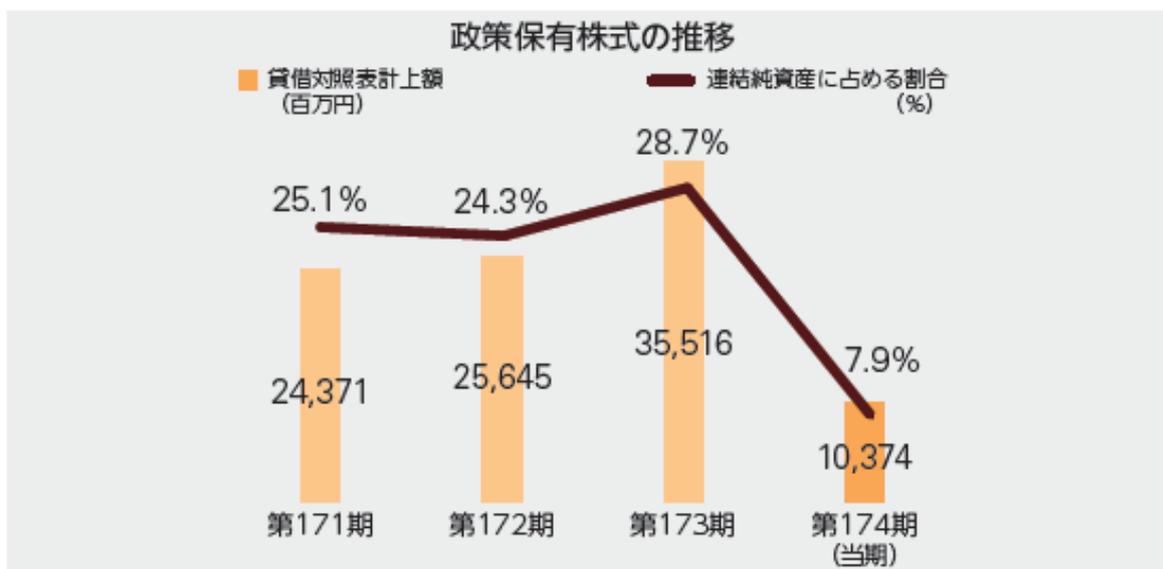
1 当社の政策保有株式の推移について

当社は2022年2月28日付け「投資有価証券の売却及び特別利益の計上並びに通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」に記載の通り、森永乳業株式会社（以下「森永乳業」）が2022年3月1日に実施した自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）における自己株式取得に際し、当社が保有する森永乳業普通株式の一部4,300,000株を応募し、売却いたしました。

その結果、2022年3月末日時点で当社が保有する政策保有株式が連結純資産に占める割合は7.9%となっております。

(期末日時点における政策保有株式の銘柄数、貸借対照表計上額及び連結純資産に占める割合の推移)

区分		第171期 (2019年3月期)	第172期 (2020年3月期)	第173期 (2021年3月期)	第174期 (2022年3月期)
銘柄数(銘柄)	非上場株式	23	20	20	20
	非上場以外の株式	36	36	31	28
貸借対照表計上額(百万円)	非上場株式	81	77	77	77
	非上場以外の株式	24,290	25,568	35,439	10,297
連結純資産に占める割合(%)		25.1	24.3	28.7	7.9



## 2 当社の政策保有株式に対する考え方

当社は、当社が保有する株式のうち保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式、いわゆる政策保有株式については、資本効率及び事業活動における取引関係などを評価したうえで保有の合理性を判断し、保有意義の乏しい株式については縮減を図る方針としております。

当社は毎年一度取締役会において、配当利回りなどによる資本効率の定量的な評価を実施するとともに、中長期的な取引関係の見通し等の定性的な評価を加え、保有の合理性を精査しております。これらの評価の結果、保有意義の乏しい株式については売却していく方針としております。

政策保有株式に係る議決権の行使については、当該議案が当社グループとの関係・取引に悪影響を及ぼさないか、コーポレート・ガバナンス上に重大な懸念事項が生じていないか、との観点から検討し、個別銘柄ごとに賛否について決定することとしております。

以 上